

WEEKLY SIGNAL

2019年9月20日(金) 1492号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	9/23(月)	9/24(火)	9/25(水)	9/26(木)	9/27(金)
無担保O/N			△0.086% ~ 0.001%		
銀行券		+ 300	トシ	△ 1,000	トシ
財政他		△ 3,300	△ 2,000	△ 3,000	△ 6,000
資金需給		△ 3,000	△ 2,000	△ 4,000	△ 6,000
主要要因		国庫短期証券発行・償還(3M)		国債発行(40年)	
オペ期日		共通担保(全店) △ 500 CP等買入 △ 600 補充供給 + 500			
オペスタート		共通担保(全店) + 3,100 国債買入 + 5,600 社債買入 + 1,300 ETF + 800			
(日本)		黒田日銀総裁、大阪経済4団体 共催懇談会であいさつ	日銀金融政策決定会合議事要旨 (7月29・30日分) 日銀政井審議委員、金融経済懇談会で あいさつ(三重県) 日銀営業毎旬報告(9月20日現在)	麻生財務相と黒田日銀総裁が 全国証券大会であいさつ(東京都)	東京都CPI(前年比)(9月)
(海外)	米 NY連銀総裁、講演 米 セントルイス連銀総裁、講演 欧 ECB総裁、欧州議会で証言 ユーロ圏 総合PMI(9月) ユーロ圏 製造業PMI(9月) ユーロ圏 サービス業PMI(9月)	国連総会一般討論演説(30日まで) 米 消費者信頼感指数(9月)	米 シカゴ連銀総裁、講演 米 グラス連銀総裁、講演	米 ミネアポリス連銀総裁、講演 米 GDP(4-6月、確定値) 米 新規失業保険申請件数 (9月21日終了週) 欧 ECB経済報告 欧 ECB総裁、講演(フランクフルト) ユーロ圏 マネーサプライ(8月) 英 カーニー中銀総裁、講演	米 フィアデルフィア連銀総裁、講演 米 ミシガン大学消費者マインド指数 (9月) ユーロ圏 景況感指数(9月) ユーロ圏 消費者信頼感指数(9月)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.025 ~ 0.030
SPOT 2M	△0.025 ~ 0.030
SPOT 3M	△0.020 ~ 0.060
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.100

<インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初397兆4,500億円から始まった。その後19日の20年国債発行の影響で減少したが、翌20日の国債大量償還を受け大きく増加し、409兆5,600億円を越えた。
9月積み期初週となる今週の無担保コールON物は、17日~19日は同加重平均金利が△0.065%の横ばいで推移する落ち着いた地合いであった。20日は、前述の国債大量償還日であったが、連休前の4日積みとなるため、地銀業態を中心に調達ニーズが強まり、同金利は△0.057%まで上昇した。ターム物は月内エンドの1W物を中心に、主に△0.050%~△0.030%の水準で出合いが見られた。
米連邦準備理事会(FRB)は、18日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で政策金利の誘導目標を0.25%引き下げ、1.75%~2.00%に決定した。利下げは2会合連続となった。一方、日銀は18・19日の金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定した。会合後の公表分において、『物価の安定の目標』に向けたモンメタムが損なわれるおそれについて、より注意が必要な情勢になりつつある」と判断し、次回会合で経済・物価動向を改めて点検していく考えを示した。
来週の主な予定は、国内では黒田日銀総裁の大阪経済4団体共催懇談会でのあいさつ(24日)や、日銀金融政策決定会合議事要旨(7月29・30日分)の公表(25日)などがあり、海外では米国GDP(4~6月確定値)の公表(28日)や、ユーロ圏マネーサプライ(8月)の公表(28日)などがあげられる。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	△0.005 ~ 0.000
TDB 3M	△0.180 ~ △0.130
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

<CP>

今週の入札発行総額は約9,500億円で、週間償還額(約1兆2,500億円)に対し減少した。中間期末の有利子負債の削減ニーズのため、期日償還が多くなったためと思われる。発行残高は、先週末の2兆1,466億円から減少し、19日時点では2兆1,350億円となった。レートは、引き続きマイナスから0%近辺での横ばい圏内の出合いであった。
来週の償還総額(9/24~9/20)は、1兆4,500億円程度となっている。また、月末日の償還額は3兆6,400億円で、中間期末のため大量に償還されると思われる、9月末の市場残高は18兆円台後半を予想する。発行レートは、マイナス~0%近辺での出合いを予想する。CP等買入入れオペが、25日に4,000億円程度オフアールされる予定。

<TDB>

18日の1Y858回債入札結果は最高落札利回り△0.2171%(前回債△0.2228%)、平均落札利回り△0.2200%(同△0.2367%)となり、入札後は△0.240%~△0.253%で取引された。また20日の3M859回債の入札結果は最高落札利回り△0.1378%(前回債△0.1236%)、平均落札利回り△0.1483%(同△0.1431%)となった。入札後859回債は△0.156%~△0.150%で取引された。そのほかセカンダリーでは、3M物が△0.156%~△0.140%、6M物が△0.295%~△0.280%、1Y物が△0.290%~△0.240%のレンジで出合いが見られた。
来週は27日に3M物の入札が予定されている。

<レポ>

足許 GC 取引は週初△0.07%~△0.06%での出合いで推移。日銀金融政策決定会合2日目が約定日となる20日受渡しでは、一部取引を控える動きがみられ△0.09%近辺の出合いまで低下。しかし24日受渡しでは短期3Mの発行もあり、週初と同水準の△0.07%近辺まで上昇した。SC 取引では、週末に40年12回債の引き合いが増え△0.30%台の出合いが見られた。その他 2年 401~404 回債、5年 137~140 回債、10年 338~355 回債、20年 164~169 回債、30年 59・62・63 回債、40年 9~11回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。